

## 第 7 回

# 新町まちづくり計画検討小委員会

平成 16 年 7 月 14 日

美方町・村岡町・香住町合併協議会

## 第7回新町まちづくり計画検討小委員会 会議録

日 時 平成16年7月14日(水) 午後1時30分～午後3時00分  
場 所 香住町文化会館

### 出席者

委員会委員(計21名)

美 方 町	村 岡 町	香 住 町
吉田 範 明	谷 淵 栄 一	上 田 孝
本 城 繁 信	板 坂 公 二	橘 秀 夫
朝 倉 富 征	石 垣 健 三	伊 藤 誠
井 上 一 郎	井 上 源 一	岡 田 久 子
毛 戸 公 彦	小 谷 道 子	柴 崎 一 秀
中 村 治 泰	西 尾 高 雄	中 村 暁
水 間 徳 子	三 好 忠 男	村 瀬 晴 好

幹事会(計9名)

美 方 町	村 岡 町	香 住 町
田 野 新 一	中 村 一 治	大 瀧 正 博
吉 田 博 昭	太 田 培 男	米 田 稔
西 村 吉 弘	杉 谷 信 義	谷 岡 喜 代 司

事務局(計9名)

藤原進之助	岸本典明	清水幸信
穴田康成	邊見泰正	田尻幸司
吉村松雄	川戸英明	中村貴志

欠席者

なし

傍聴人 34人

## 第7回新町まちづくり計画検討小委員会

と き：平成16年7月14日(水)

ところ：香住町文化会館

1 開 会

2 委員長挨拶

3 会議録署名委員の指名

4 議 題

協議事項

協議第9号 「新町まちづくり計画」(案)について

5 閉 会

藤原事務局長 皆さん、こんにちは。定刻、若干過ぎましたけれども、ただいまから小委員会を始めさせていただきたいと思います。

それでは最初に、委員長から会議の開会宣言と御挨拶を頂戴したいと思います。

井上(一)委員長 失礼します。本日は、欠席の届けはありませんが、香住町の岡田委員がまだお見えになっておりませんが、やがて来られると思いますので開催をしたいと思います。

本日は大変いい天気になりまして、梅雨が明けたということですが、暑い中、御苦労さまですが、よろしくお願いをしたいと思います。

それでは規定に基づきまして、議長を務めさせていただきます。

議事録署名委員の指名につきましては、会議運営規程第4条第2項の規定に基づきまして、私から指名させていただきます。美方町、中村治泰委員、村岡町、小谷道子委員、よろしくお願ひします。

それでは議題に入ります。

協議第9号、「新町まちづくり計画」(案)についてを議題といたします。

前回の小委員会では、御意見をいただいたものの一部修正し、全体会で新町まちづくり計画の案を示させていただきたいということにしておりましたが、それらの説明と、その後事務所の位置が確認されたこと、さらに本計画の事前協議で県から一部修正の指摘箇所

があったことなど、合わせて新町のまちづくり計画に盛り込む県事業についても通知をいただいておりますので、これらを説明していただきたいと思います。

なお、事務局からの説明の後、美方町、村岡町の最重要課題である事業について、その概要の説明も受けたいと思いますので、よろしくお願いします。

それではまず、事務局長に説明をさせます。

藤原事務局長 それでは、今委員長からお話がありました内容につきまして、担当の穴田の方から逐一説明をさせていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

穴田係長 失礼します。まちづくり計画（案）ということで右肩の方に資料1という、その資料を追って説明させていただきたいと思います。

まず、めくっていただきまして（4）に、広域的視点に立った地域総合開発の推進というところで、ここで県等の指導によって修正がありました。下線部がその部分になりますけれども、「但馬地域において」ということで修正をしております。修正前は丹波も入っておりました。それによって自治体数が26から7というところが、「16から5」ということで修正をしております。

続きまして30ページをお開き願います。新町の地域構造の形成と地域振興拠点機能強化の部分で、上の枠の中、3つありますけれども、連携交流軸、その中の地域内連携交流軸の説明書きの部分に、国道482号ということで挿入するよにということで、県の指導がありました。

34ページ新町のまちづくり施策の1の自律と参画・協働、連携、交流の推進の（5）まちづくり施策の7で、前回、自然環境の保全・活用のところでユネスコという言葉の世界自然遺産の登録という前に入れるということで、後半の部分と合わせてここも、（5）ですけれども、山陰海岸国立公園のユネスコ世界自然遺産の登録ということで、「ユネスコ」を入れております。

36ページ、真ん中あたりに の周辺地域との連携・交流の推進というところで、同じようにユネスコという言葉を入れております。

37ページ、2の教育・文化の充実・創造の（1）学校教育の充実で、トライやる・ウィークという言葉の文言の修正が県よりありました。それと合わせて、その下の段ですけれども、「総合的な学習の時間」ということで、この部分も修正がありました。

39ページ、施策と主要事業の概要の部分でも一番上から3行目になりますが、「トライやる・ウィーク」ということで、そこに「トライやる」と「ウィーク」の間に「・」が入っております。

43ページ、3の保健・医療・福祉の充実・連携という施策と事業名の一覧の健康づくりの推進のところでも主要事業の概要、一番下の「健康増進施設整備」ということで、美方地域の最重点課題事業の名称に合わせさせていただきました。

そして、44ページが、特に下線等はしておりませんが、まちづくり施策8の柱の内の3の保健・医療・福祉の充実・連携に主な県事業ということで、このものを挿入しております。施策名が保健・医療の充実。主要事業の概要として、僻地医療支援事業の推進。また理学療法士、作業療法士等の人材派遣事業の推進。関連があります、  
、  
ということで、の高齢者福祉の充実、の障害者福祉の充実、の健康づくりの推進ということで、理学療法士、作業療法士等の人材派遣事業の推進という表を入れております。

50ページ、まちづくりの施策の8つの柱の内の4つ目の産業振興と雇用確保のところでも、主な県事業ということで表を挿入しております。施策名が農林水産業の振興で、主要事業の概要としては中山間地域総合整備事業「ワンダフル但馬地区」事業、農道整備事業ということで村岡福岡地区、森林基幹道・管理道整備事業（三川線・仏ノ尾線）、漁港環境整備事業（香住漁港）、大型漁礁設置事業（柴山沖）ということで入れております。

53ページ、5の都市基盤の整備・充実でも主な県事業ということで下段の方に入れております。施策名が道路網の整備。主要事業の概要としては国道整備事業、県道整備事業など社会基盤整備プログラムの計画事業、国道178号、482号、主要地方道香住村岡線、養父美方線他ということで、養父美方線、ちょっと聞きなれないですけども、平成16年の4月1日に名称が変わっております。ちょっと下線を引いております。以前は関宮美方線ということだったようです。

56ページ、前回の小委員会での意見を踏まえて修正した部分です。7の自然環境の保全・活用というところで一番上の行ですが、「広範な海岸部が山陰海岸国立公園に、山岳部が氷ノ山後山那岐山国定公園」ということで文言を修正しております。(1)の自然公園等の保全と活用、そこで「ユネスコ」という言葉を世界遺産の登録というところに入れております。それと若干の修正で、(1)の自然公園等の保全と活用の部分の上から3行目の「人と自然の共生するまちづくりをめざし」ということで、「を」を入れております。そして(2)番の自然景観の保全のところでも、1行目に「住民が長年にわたり手入れをし」というこ

とで「を」を挿入しております。

そして、57ページで7の自然環境の保全・活用の部分の施策名の「自然公園等の保全と活用の主要事業の概要、上から2つ目ですが、そこでも「ユネスコ」という言葉を入れております。そして、下の表に主な県事業ということで、県の事業を挿入しております。施策名が「国土保全の推進で、主要事業の概要としては、河川事業、土石流対策事業、地すべり対策事業、急傾斜対策事業など社会基盤整備プログラムの計画事業ということで、河川事業は3つの河川、土石流対策事業、3つの河川他ということで、地すべり対策事業、急傾斜対策事業ということで、それぞれの地域他ということで入れております。

58ページでは、8つ目の柱の行財政の基盤強化ということで、(1)行政改革の推進の後に「行政サービスの向上」ということで、その言葉を挿入しております。第9回の後、事務所の位置等検討小委員会で事務所の整備について確認をされましたので、その事務所の位置についての整備について記述をしております。上から4行目ですけれども、「効率的な行政を展開する庁舎を整備します」というような言葉を挿入しております。下の段の表の中にも同じように、施策名に「行政サービスの向上」ということで、その言葉を入れております。主要事業の概要でも、上から3行目の「庁舎整備及び」ということで、その言葉を挿入しております。

施策名の表題が変わったことによりまして、32ページに返っていただきたいんですけども、32ページの一番下の新町のまちづくりの基本方針と施策の体系ということで、8つ目の行財政基盤の強化の後の「」がありますけども、「」の方に「行政サービスの向上」ということで、その言葉を挿入しております。

そして、60ページが財政計画の部分ですけども、財政の総点検を行うということで、この部分も前半、全面修正をしております。「財政計画は、新しいまちづくりの視点に立って、財政運営全般の抜本的な見直しを図るとともに、地域の均衡ある持続的発展に資するため」ということで、その部分を追加、修正しております。

61ページでは、意見等を踏まえて(8)ですけれども、投資的経費のところの後半部「年度間並びに地域間のバランス」ということで、その「地域間」を挿入しております。

63ページ以降につきましては、本文で出てきました用語の順に説明書き、用語の説明を入れております。63、64、65あたりです。

以上が前回の意見等、踏まえた部分、そして県の指導事項で追加になった事業、また修正点、それから事務所の位置等検討小委員会で決まった事項等を反映させて幹事会等で諮

らせていただいて修正した部分の説明になります。

井上（一）委員長 字句の説明が終わったわけですが、美方町の健康増進施設について説明していただきたいと思います。

西村参事の方でお願いします。

西村参事 それでは失礼いたします。美方町の総務課の西村といたします。美方地域の振興拠点整備ということで、資料は、本日のまちづくり計画検討小委員会資料、末尾の方に資料2として添付させていただいております。これによって説明をさせていただきたいと思います。

美方町ではふるさと創生事業で、町民から出されましたアイデアを基に、町の美しい自然であるとか豊かな自然を生かして、地域の活性化を図る対策として、健康で豊かな地域づくりを目指した美方クオリティライフ村構想事業を立ち上げております。平成4年には、この構想に基づきまして温泉保養館おじろんを整備し、健康づくりに取り組んできております。今後も新町町民の健康づくりの場としてこれらを充実させていくために、この周辺に健康増進施設、グラウンドゴルフ場、健康増進センターを一体的に整備し、このゾーンを健康運動公園として位置付けていこうとするものでございます。

現在、美方町では約40%に近い高齢化率というふうなことで、本格的な超高齢化社会を迎えておるわけでございますけれども、この高齢化を地域の活力に結びつけていくために、町民一人一人の人生を価値あるものにするためのキーワードを健康ということに定めまして、健康福祉と都市交流を有機的に結びつけ、新町の町民が健康で生きがいを持ち、安心してその生涯を過ごせるような明るい活力のある長寿社会、長寿福祉社会を目指そうとするものでございます。

施設の機能、特徴につきましては、まず、グラウンドゴルフ場ですが、これは本格的グラウンドゴルフ場といたしますか、公認されますような、それぞれコースがセパレートされました10ホール掛ける2コースを予定しております。こちらの方の面積が約1万平米、事業費の概算でございますけれども、1億1,000万を予定しております。これにつきましては、全国からのグラウンドゴルフの愛好者、現在でもかなり増加しつつあるということから、その愛好者の誘客を図りまして、この施設のみならず、おじろん、それから各観光施設の入り込みの増大を目指しておるものでございます。

それから健康増進センターにつきましては、新町の町民を対象に健康指導を総合的にやるよう有酸素運動でありますとか水中運動、機能回復トレーニング、それらができます施設をつくりまして、一步踏み込んだ健康づくりを行っていきたいというふうに考えております。

その次に、全体図と、後概略図をつけさせていただいております。左側には新町のエリア、少し細々としていて見にくいんですけども、美方エリアが左下の方になるかと思っております。この中で健康運動公園、仮称でございますけれども、美方町の中心少し北側に整備する予定を立てております。右側の図面が、もう少し大きくした図面でございます。現在、温泉保養館おじろんがこの地図でいきますと真ん中左側にあるわけですけども、ここで今現在運営を行っております。それからスキー場に上がりますゴンドラがこのすぐそばにありまして、ゴンドラ乗り場があります。このゴンドラ乗り場の周辺に多目的の駐車場があります。これらを有機的に結びつけるといいですか、おじろんの隣接する場所に健康増進センターを配置して、それに続くような形でグラウンドゴルフ場を整備していけたらというふうに考えております。

以上で美方地域の振興拠点整備の説明を終わらせていただきます。

井上（一）委員長 続いて村岡町の特別養護老人ホーム事業につきまして、説明をお願いします。

岩槻課長 失礼します。村岡町保健福祉課の岩槻と申します。よろしくお願いたします。

それでは、お手元の資料3の方ご覧いただきたいというふうに思います。村岡町の重点施策事業でございます特別養護老人ホームの整備事業費の試算について、お示しをいたしております。特別養護老人ホームにつきましては、平成15年度から5年間の村岡町の老人福祉計画に位置付けておりますし、また但馬の1市18町の調整会議を経まして、兵庫県の老人福祉計画におきましても、村岡町の特養整備が位置付けられているところでございます。それを順次、内容につきまして説明をさせていただきます。

まず、1の条件設定でございますけれども、そのうちの(1)整備規模につきましては、特養50床、短期10床とするということで、特養50床といいますが長期のベット数でございます。短期といいますが、いわゆるショートステイということで10床、合わ



せて60床の施設というふうに見込んでおります。なお、これにつきましては全室個室、いわゆる新型特養というものを計画しているものでございます。

(2)です。施設の延べ床面積につきましては3,500平米、坪にしますと約1,060坪というふうに見込んでおります。なお、敷地面積につきましては、ここに明記してございませんが、約7,700平米を見込んでいるところでございます。

次に(3)でございます。国県補助金については平成16年度単価で算定というふうに書いてございますけれども、これは3の方でまた詳しく御説明いたしますが、平成15年度に比較しまして、補助単価が下がってきております。そういうことがありますので、ここでは平成16年度単価で算定というふうに明記をいたしているところでございます。

それでは次の2の法人事業費ということで、施設整備・設備整備及び設計監理費の費用を表しております。施設整備費については8億円というふうに見ております。これの積算でございますけれども、枠の下の方に書いてございますけれども、3,500平米掛ける22万8,571円、これは平米単価です。ニアイコールで8億円というふうな算定をいたしております。なお、この金額につきましては、概算設計の中で出してきた数字ということで、また実施設計になりますと、変動があることも見込まれるというふうにご考えておるところでございます。

次に、設備整備費でございますけれども、総額で一応6,300万円を見込んでおります。設計監理費につきましては3,400万円でございます。すべて合わせまして8億9,700万が設備整備の事業費ということになります。

次に3でございます。法人事業費に対する町負担額。まず法人事業費といいますが、先程の施設並びに設備の総事業費ということで8億9,700万円、これがAとしております。次に国県補助金、Bといたしておりますが、1億9,359万円になります。これの算定基礎がその下の方に書いてございますけれども、国県補助金、特養と書いてございますけれども、これは長期のベットでございます。1床ということになるわけですがけれども、1人当たり350万円、これが補助単価でございます。それに加えて設備加算といいますが、これも1人当たり14万1,000円、長期については50床、50人分でございますので、それらを掛けまして1億8,205万円が補助単価ということになります。

次に、短期とございます。これはショートステイの方のベット数になりますけれども、1人当たり補助単価が110万円、設備加算につきましては1人当たり5万4,000円、

これが10床でございます、10人分でございますので1,154万円ということになります。合わせまして1億9,359万円でございます。因みに平成15年度の補助単価は、長期につきましては390万円でございます、1人当たり390万円。それから短期につきましては130万円ということでございましたけれども、16年度につきましてはこれだけ下がっているということでございます。

次に、Cの法人借入金ということで表しておりますけれども、1億5,000万円でございます。これにつきましては、現在、村岡町が予定しております事業者であります社会福祉法人との協議の中で、法人の借り入れられる限度額が1億5,000万ですというふうにお聞きいたしておりますので、ここに1億5,000万円というふうに入れさせていただいているわけです。町の負担額、Dとして表しておりますけれども、これにつきましてはAの法人事業費8億9,700万円から、まず国県補助金の1億9,359万円を引きまして、なお、それに法人の借入額1億5,000万を引いた残り、これが5億5,341万円ということになりますので、これを町の負担額といたしているところでございます。

次に、4の町の必要資金というふうに表示しておりますけれども、先程の5億5,341万円、これが町負担額として表しております。これに土地取得費、Eで表しておりますけれども、7,237万3,000円、これは町の方で購入するための必要経費だということでございます。それと、次の書いてございます解体・造成費用、Fで表しておりますけれども、1,210万7,000円。これにつきましては、現在建物がございまして、これは使う必要がございませんので、撤去するという解体費用でございます。これは今、利用しようとする敷地に古い建物がありまして、それを解体する費用。後若干の造成費等が必要になるということで、合わせて1,210万7,000円ということになります。

なお、先程の取得する土地の面積は、下の方の米印のところにございますけれども、Eとして土地取得面積2,391.47平米を予定しております。

それから、解体・造成につきましては、解体建物の延べ床面積が680.32平米。それから2の造成面積は6,000平米。それから、現在予定しているところに道路がございまして、そこが舗装されておりまして、それを撤去する必要がございますので、3の舗装撤去ということで360平米。あと水路が同じく予定している土地内にございまして、それらをつかえる費用がかかるということで、その延長が75メートルということで表しております。先程申し上げましたDの町負担額に土地取得額、それから解体・造成費用等をプラスしますと、合計のG欄ということで6億3,789万円ということにな

りまして、これが特別養護老人ホームの整備事業費の総額だということになります。

説明は以上とさせていただきます。

井上（一）委員長 続きまして、事務局長の方から補足説明をさせていただきます。

藤原事務局長 補足説明といいますか、今、美方町、村岡町からそれぞれ重点課題の事業の説明があったわけでございますけれども、この関係につきましては、これまでこの小委員会の中で、特に具体化されて議論はなされておられませんけれども、事務所位置の検討小委員会の中で、庁舎の建設と絡めまして、重点課題事業ということでいろいろ協議がなされてきました。結果的には、事務所位置の小委員会ではこれらの事業を明確に位置付けるということは、本来の事務所の位置の小委員会の範疇ではないというようなことから、少なくとも庁舎を含めた3つの事業については、お互い尊重しようということでの意見統一がなされましたけれども、このまちづくりの小委員会では、それらのことを踏まえて、これらの3つの事業を明確に位置付けることが必要ではないかというようなこともございまして、きょう改めまして事業の概要を御説明させていただく中で、その辺の御協議をお願いできればというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

井上（一）委員長 以上で説明が終わりましたが、質疑がありましたらお願いしたいと思います。なお、発言に際しましては、町名、氏名を述べてからお願いします。

石垣委員。

石垣委員 ちょっとお尋ねしたいんですけど、村岡の石垣です。まちづくり計画の方でちょっとお聞きしたいんです。62ページ、一番最後になりますけども。62ページの財政計画の一番最後の表が歳入歳出ということで、これは載ってあるんですけども、恐らくこれは県のヒアリングが済めば、ここに数字が入ってくるのかなというふうに理解しとんですが、ヒアリングが終わった段階で、これを表示されるものか。これは全体委員会の方で表示していただけるのか、もう小委員会は今回限りということになれば、そういうことになるのかなと思ってみたりしとんですが、その辺をちょっとお聞きしたいなど。これ空欄だけですので、中身がわかりません。

それから、続いてもう1点お願いしたいんですが。健康増進施設の概要の説明を受けま

したんですが、この中でグラウンドゴルフが10ホール掛ける2コースということになっておりますが、平面図になりますか、図面を見ますと、コースが1、2、3と3コースの図面表示がなされとるんですね。だからこれが2コースなのか、3コースなのか、どちらかなというふうにちょっと今見たんです。

それともう一つは、施設について、こういう事業について別にとやかく私から申し上げるつもりはないんですけども、この施設ができました段階で、後の維持管理、運営はどういう組織というんか、運営母体をつくってやるのかなと。きょうの全体会議、後の全体会議でも、第三セクターについては、引き続いて新町が引き継ぐということになっておるようですけども、前回も私も発言として申し上げたんですが、新しい町をつくっていくのに、やはり第三セクターというようなもの、これ全国的にも赤字経営が多いと。それを何とかきちっとした運営体制が、自立できるような体制づくりということが必要じゃないかと。新しい町の財政的にも非常に苦しいというようなことを考えると、こういう問題もきちっと整理して、スリム化した自治体をつくっていく必要があるというようなことを前回にも発言させていただきました。そういうようなことから言いますと、この運営をどういう具合にされるのかなということをお聞かせいただければなというふうに思って、発言させていただきました。以上です。

井上（一）委員長 事務局長。

藤原事務局長 最初の財政計画の関係でございますけれども、県のヒアリングが終わりました段階で、これを事業費ベースの数字に置きかえて、御報告させていただきたいというふうに考えておりますけれども、まちづくり計画そのものにつきましても、県の正式協議を終えました段階で、小委員会なり協議会にお示しをさせていただきたいと。ただ、小委員会を開催ということになりました場合、これだけのものを小委員会にかけて、さらにまた全体会で、同じような内容をお諮りすることになるわけでございますけれども、その辺はまた委員長と御相談させていただいて、小委員会で一旦お諮りし、さらに全体会ということになりますか、とりあえずルールとしては、小委員会を考えていきたいというふうに思っております。

井上（一）委員長 健康増進施設について。

西村参事 先程質問がありました資料2の最後のページ、右側の大きな図面でございます。グラウンドゴルフコースが、この中ではコース1、コース2、コース3というふうに表示されてあります。ちょっと説明不足で申しわけなかったんですけども、この中のコース1につきましては、既に中山間地域総合整備事業ということで本年度測量試験に入っております。来年度着工になるところでございます。ですから、先程健康増進施設の中で説明させていただいたコースにつきましては、コース2とコース3を示しておるものというふうで御理解をいただきたいと思っております。

それから、施設整備後の維持管理、運営をどうするかという御質問でございますけれども、現在、温泉保養館おじろんの方が町の直営で運営しております。この健康運動公園につきましては、このおじろんを受け付けというか、管理の母体に持っていきたいというふうに考えております。この温泉保養館おじろんの現行の職員と、それから健康増進センターの方につきましては、新町になりましてからできます、地域局の中の保健部局といたしますか、そちらの方のスタッフがこちらに入って、中の健康づくりについては、現在行っている健康づくりのもう一步踏み込んだ健康づくりに取り組んでいただくというふうな形で、新町の中で体制づくりをお願いしていきたいというふうに考えております。

井上(一)委員長 他にありませんか。

中村委員。

中村(治)委員 美方町の中村です。まちづくり計画の中の53ページでございますけれども、主な県事業という道路網の整備があるわけですけども、この中で主要事業の概要として具体的に養父美方線他というのが新たに挿入になっております。我々が本委員会で理解しているのは、合併域内の主要地方道ということで、香住村岡線並びに村岡美方線というふうに理解をしまいったわけですけども、この養父美方線が加わったということについての御説明をいただきたいということが1点と、村岡美方線、これは養父美方線他の「他」に入っているのかどうか、包含されているのかどうか、その辺の確認をさせていただきたいと思っております。

それから、後1点ですけども、村岡町さんにこれはお伺いしたいと思うんですけども、総事業費、いわゆる法人の事業費が8億9,700万、これ以外に土地取得費と解体・造成費用合わせて8,448万円ですか、これが加わって全体の総事業費としては8億9,

700万円と、土地取得費等の8,448万円、合わせて9億8,148万円、これが総事業費というふうに理解してよろしいか、これは確認ですけども、その辺の確認をさせていただきたいと思います。

井上(一)委員長 事務局。

藤原事務局長 53ページの主な県事業の関係でございますけれども、この関係につきましては、実は、県の方から、これまでのそれぞれの町が取り組んでおりますようなものを踏まえながら、県としての考えで通知があった内容ということになっております。それで、村岡美方線というのは具体的な名称としてないわけですが、一応いただいた中には、そういったものが入っておりませんが、養父美方線他ということでの理解をというようなことを聞いております。以上でございます。

井上(一)委員長 村岡町さん。

岩槻課長 失礼いたします。今、御質問の総事業費という捉えですと、御質問のとおり、ここで言いますと2の合計8億9,700万円、これは設備整備に係る総事業費になります。それから4のEとF、土地取得費、解体・造成費用、これは先程の建設の整備の8億9,700万円が加えてございませんので、これらを加えますと、御質問にあったとおり9億8,148万円、これが全体の総事業費という捉えをしていただいたら結構かと思えます。

井上(一)委員長 谷淵委員。

谷淵委員 村岡町の谷淵です。私は、美方の健康増進センターあるいは村岡の特別老人ホームの関係について、財政的な面と計画のことについて尋ねてみたいと思います。

先般の協議会で、庁舎については速やかにという表現はあったと思います。ところが、美方、村岡の健康増進センターあるいは特別老人ホームの合併特例債は5年以内というふうな表現があったと思うんです。美方にも、それなりのことは言えると思うんですけれど、とりわけ私は村岡の場合を考えてみると、ことしの8月に県に申請して17年から着手す

るという計画の中で行政も進めてきておるんですけど、何と申しまして、合併特例債が本当にどうなるんだと、財政計画が出てないから、わからないというふうにおっしゃるかもしれませんが、その辺を明確にさせていただかなかつたら、村岡町としては17年度の4月から特別老人ホームに着手するというふうな計画を進めている。ところが、特例債がなかつたら村岡町は着工できない。ところが、その特例債が限定があるので、庁舎に速やかにということで、第1条件は庁舎だろうと思うんです、と考えておられると思うんです。

ところが、5年以内ということになると、ますます美方にしてもそうでしょうけど、村岡の老人ホームに対する不安が町民に募るということなんです。その辺を財政計画から見て、あるいは17、18でそのような見通しが、恐らくわかりませんというふうにおっしゃるかもしれません。その辺をはっきりと、この場でそういうふうなことを交わしていただかなかつたら、町民の不安が、いわゆる老人ホームに対する不安がぬぐい去れんと思うんで、その辺の見解をちょっと聞いてみたいと思います。

井上（一）委員長 事務局。

藤原事務局長 これは、あくまでも財政計画上のことでございますけれども、この事業の実現性については、以前にも御説明させていただきましたが、財政計画の上では実現可能だというようなことで御説明させていただいたかと思っております。せっかくですので、美方町が考えておられます健康増進施設につきましても、前回の時点では事業費で3億5,000万円、一般財源で1,200万円というような内容であったわけですが、現在では事業費が5億ということになっておりまして、一般財源も若干増えております。ただ、その場合、他の事業との調整というようなことの中で、そういったことを考えますと、美方町の場合でも合併前半の5年間で実現可能かなというふうに考えております。

ただ、今、特老の関係で17年の着工というようなことがあったわけですが、現在の財政計画上では村岡町から出てきております年次を考えてみますと、必ずしも17年度に着工というような内容にはなっていないわけですが、逆に言いますと、この3町の事業を一度に17年度からというようなことになると、財政計画上支障を来すということも十分考えられますので、その辺は財政運営をにらみながら、財政計画をにらみながら実施していかなければならないかなというふうに考えております。結論としては、合併前半の5年間に実現可能だろうということを御報告させていただきたいと思

ております。

井上（一）委員長 はい。

谷淵委員 村岡町の谷淵です。今、事務局長はそのようにおっしゃるとるんですが、私たちが聞いておりますのは、執行部の方から説明されておりますのは、8月に県に申請を出したいと、そこまで考えているというふうな受けとめ方しとるし、また、そのような答弁だったと思うんです。ところが、今、局長から財政計画でなかったらとなると、その辺も早く県との折衝の中で、村岡の特老に対する町民の希望がかなえられるようないわゆる意味において、もう少し県等にもたしか特例債は一挙に使うことができないということは、局長の言うのは理解できることはできるんですけど、私たちはそのような形の中でこういう計画を立てるので、その辺を改めて、17年度の着工に対する合併特例債の幾らかでもできる方法がないか、ここは研究していただきたいと。そうしてもらわなかったら、町民のところに対する不信が起きるんじゃないかというふうに考えておるので、その辺をよく考えていただきたいと思います。

井上（一）委員長 幹事長。

大瀧幹事長 幹事長として発言させていただきます。

今、谷淵委員さんから、どっちかといいますと、合併協の事務局長の方に何か要望みたいなことがありましたけども、これは事務局長が当然答えられる問題ではありません。特にその重要事業につきましては、3町長さんが共通した認識を持っていただかないと事業が進まない現状でございます。そういうような中から、現在までの町長会におきまして、この事業の実施年度を含めて、いつ頃やったらいいのか、財政的にどうであるのかということも含めて3町長さんは十分認識をしておられます。先程合併特例債は一気に使えないというようなこともありましたけども、特例債は一気に使えると思います。一般財源がついていかないということがあります。ですから、各町が新しい町に持って出ます財政調整基金等のいわゆる一般財源の額にもよりますし、これをたくさん持って出れば大きな事業でも幾らでも重ねてできるわけですけども、やはりそこら等の財政計画上の、特に一般財源の充当についての課題もございます。



そのようなことで、3町の町長さん十二分に事業実施時期のタイミングも相談をしておられます。この場では、そんな報告はできませんけども、十分認識をしておられますので、是非とも3町長さんを信用していただきたいというふうに思います。それ以上のことを合併協議会の中で数字を煮詰めたり、実施年度を煮詰めたりしますと、ちょっと、なかなか前向きの議論ができない場合があるというふうに思っておりますので、是非とも3町長さんを信用していただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

井上（一）委員長 吉田委員。

吉田委員 今のにちょっと関連するんですけど、確かに今言っておられたとおりで、信用をせざるを得んと。そしてその中でも、しかし、我々の思いもあるんですね、最重点課題に対する、事業に対する思い。と申しますのは、くどいようですけど、これに関しては、特に美方町のことを言わせていただきますと、なぜ、庁舎位置の中でそういう議論をされたか。普通ですと、そういう議論はされないわけですね、そういうところでは。しかし、兼ね合いを考えていただければ、十分その位置付けというものがおわかりになると思うんです。もっと言えば、庁舎と同じぐらいに我々は考えているんだと、特に美方町は。そういうことを考えていただければ、そういう思いが出てくるのは当然だと思うんです。しかし、そうかといっても、確かに財政が破綻するようなことをさせるべきではないという中で、その辺は執行部の権限だと、このようには思いますけれど、何らかの形でその辺きちっと明確に謳っていただかなければ、我々もどうも不安になるということで。

そのことの中で参考資料ということで先回も出されました。もちろん庁舎の中でも出されましたけれど、前期5年間の中に計画に盛り込んでも大丈夫だと、このような見解を得ておりますし、特に事業費について美方町あたりはある程度増えてもおりますけども、その辺についても庁舎委員会では一応説明した中でもいけるというふうな認識を踏んでいるわけですので、その辺のことも十分考えていただいて、例えばこの中にそういう文言が入るかもわからないんですけど、そういうもんを入れていただくという、最低でもそのぐらいな気持ちがないと、今の答えには、我々の答えには響いてこないと、このように私は考えております。

井上（一）委員長 事務局長。

藤原事務局長 ただいま吉田委員さんの方から、何らかのものをこのまちづくり計画の中にも盛り込んでもらわないと、いわば担保がないと安心ならんというようなことだと思うんですが、仮にそういった思いがございましたら、御提案していただいて、この小委員会の中で少なくとも皆さんの合意が得られれば、そのようなことも考えていきたいというふうに考えております。

井上（一）委員長 柴崎委員。

柴崎委員 香住の柴崎でございます。今の特老の問題、3町の中でその必要性は我々も本当に徐々に認識しておりまして、是非一日も早く設置をしていただきたいな、町の状況を見ますと、待ってる皆さんの状況を見ますと、そういうふう思うわけでございまして、谷淵議長さん、それから美方町の議長さんのおっしゃることもよくわかります。私たち庁舎を建てるにしましても、いろんな施設をつくるにしましても、非常に厳しい中でやっているわけでございまして、お互いに自己努力ということもやっぱりやらないかなだろうと思いますし、香住町の場合でも前回の庁舎の問題の中で、できるだけスリムにというふうな厳しい指摘もございました。当然、むだなことはする必要ありませんし、必要最小限度のものでやるべきだと私は思っておるわけでございます。

そこで、この特老の問題につきましても、周辺の例えば豊岡あるいは浜坂等の動きを見ても、豊岡市に「とよおかの里」というのが昨年秋にできました。これは準民間でやっております。それから浜坂町の場合も、今準備を進めていらっしゃるようですが、これも準民間であります。恐らく行政が出される思惟っていうのはあんまりないだろうと思います。「とよおかの里」の場合は、もうほとんどないと言ってもいいくらい準民間で道路の問題から屋敷の問題まで、すべて調達をしてやっておられる。

そういう考え方っちゅうんですかね、民間の資金の導入っていうことも当然考えないかんとおもいますが、例えば香住町の場合も特老つくりますときに、民間の資金をいかにして皆さんから出していただくかということで考えたのが、ふるさと振興資金という資金であります。これで、法人の皆さんから出していただいた場合、法人の皆さんの出しやすくする条例をつくっていただきました。それを通してある程度寄附を集めたという経過があります。法人の皆さんはその気になりますから、比較的そういった寄附がしやすい状況にあったというふうに思います。そういったことで、そういう知恵を出すということも非常に

大事だと言えると思います。従って、できるだけ早くつくるためには、そこら辺のところも英知を絞っていただいて、そして行政も、それから民間の力をどうすれば早くできるかということ、私は別の視点から考えていただいたらいいなというふうに思っておりまして、これはむしろこのまちづくり委員会じゃなくて、町長さんがおられるところで言わないかと思いますが、蛇足かも知れませんが、ちょっと発言させていただきました。以上です。

井上（一）委員長 他に質疑ありませんか。

柴崎委員。

柴崎委員 それからも一つ、資料2の美方さん提出していらっしゃる健康増進施設のことでちょっとお尋ねをしたいと思うんですが。石垣委員さんも先程おっしゃってありましたように、建てた後の運営というのが非常に大きく財政に影響するわけでありまして、その多少とも町が負担をしても、それだけの価値があれば大いにやっていただけたらいいなというふうに思うわけでありまして、例えば、ここの健康増進センターの中にグラウンドゴルフと、あるいはプールがございます。立派な温泉もあるわけでありまして、それらを有機的に使われることによって、町民の健康管理の一つの拠点という位置付けになると思うわけですが、私は、ただ野方図にそういう施設を利用しなさいっていうんじゃなくて、一つの戦略が要るんじゃないのかなというふうに思うんです。

つまり、建物を建てながら、具体的に、じゃあ、健康増進だけれども、どういう形でそれが数字に出てくるかなということが気になるわけでありまして、お互いに健康で、たとえ高齢者が多くても、高齢者の皆さんが元気で過ごすということが目的であるわけでありまして、そのためにどうするかということで、その一つの具体的な方法としてこれを考えて取り入れてるわけで、私は医療と福祉と、そういった保養施設っていうのは一体のもんであって、その中で町民の健康をどう維持、増進をしていくかというのが、非常に大事だというふうに思いますので、そういう点で建設後の町民健康増進のノウハウっていうんですかね、そのあたりを今の段階から十分に勉強していただいて、この施設、いろんな施設、こういった健康増進施設ができたおかげで運動ができるようになったと、運動することによって血圧が下がったと、あるいは糖が少なくなったとか、従って、それによって医療費が少なくて済んだというふうなことに結びつけてほしいなというふうに思うわけです。

一つの目標を持ってやることによって、この施設の価値っていうんですかね、やったことの意義が出てくるわけでありますので、建てられた後、あける後じゃなくて、その前から、そういう戦略を持った形でいろいろ勉強していただきたいなということを強くお願いをしておきたいと思います。

非常におじろんといういい施設を持っていらっしゃると思いますので、それともう1点の視点というのは、これは美方町の皆さんだけでなく、我々香住町の皆さん、私自身も使わせていただきたいと思います。やっぱり65ぐらいになりますと、血圧が高くて糖が出るとか、いろんな問題が出てきますんで、そういったところで運動をさせてもらいたい。その施設として是非使わせてもらいたい。そのために、あなたの現在の数値はこうだから、こういうふうに運動しなさいと、食べ物はこういうふうにしなさいよというようなことを病院との連携の中で指導いただければ、非常にありがたいというように思います。そういうふうな施設として位置付けていただければありがたいと思いますので、私は、金のことも大事だけれども、その使い方について非常に心配しております。よろしくお願いをしたいと思います。

井上（一）委員長 他にありませんか。

伊藤委員。

伊藤委員 香住町の伊藤でございます。美方町の方の健康増進施設のことについて、もう庁舎の検討委員会で出たかもわかりませんが、私、出ておりませんので質問させていただきます。

建設時期の方は、先程話があったんですけれども、グラウンドゴルフ場、それから健康増進センター、グラウンドゴルフ場の方は維持管理費、あんまりかからないというふうに考えられるんですけれども、健康増進センターの方のプール関係、温水プール関係ですけれども、非常にいい施設、使いたいなというふうには思うんですけれども、維持管理を考えたときに、どれぐらい予想しておられるのか。年間どのぐらい維持管理費を、おじろんの職員が当たるといようなことも先程説明もあったんですけれども、その他殺菌消毒とか器具の破損とか漏水、それから、特にプール関係であると水難事故っちゃうんですか、心臓発作で溺れてというような突発的な事故も予想されるので、監視員の配置というようにも考えられるんですけれども、どれぐらい年間予想されておられるのか。

それからこれ予想なんですけれども、新町の町民が利用するというので、そこから収益を上げるということになると思うんですけれども、また他町、県あたりからお客さんを呼ぶということになるかもしれませんけれども、予想としてどれぐらい考えておられるのか、その辺をお尋ねしたいと思います。建物は頑張って建てようっっちゃうんで建てれるんですけれども、後の管理が後の世代にどれだけ負担になるというようなことであれば、その予想を是非やっていかなければならんと思いますので、どのぐらい予想しておられるのか説明をお願いします。以上です。

井上（一）委員長 美方町さん。

西村参事 失礼いたします。健康増進施設の維持管理に関する事でございまして、まだ未知のものでございますので、なかなか数字的につかみにくいわけですけれども、近隣の施設の状況とか、そういったことを把握する中で、ある程度の数字をはじき出すということはさせていただいております。管理上、ただ単に保健係だけの配属ではなくて、今、健康運動指導士という資格を持った健康づくりの専門員がおるわけですけれども、そういった者を2名程配置して専属的に当たたらどうかということで、この人件費を2名で700万程と、それからプールと、それから建物の維持云々、電気代、ボイラー代、上下水道、設備の点検等を含めまして1,500万程見込んでおります。それから、それとは別に日々の掃除を週3日程を考えておまして、こちらが250万程で2,450万ですか、概算ですけれども、こちらの施設の管理ということで必要経費が予想されるのではないかなというふうに考えております。

それから利用の方の見込みなんですけれども、こちらもおじろんが今現在4万人から4万5,000人ぐらいで推移しております。それから、ここゴンドラがあるわけですけれども、スキー場の利用者が約5万人程度。それから、美方町にあります尼崎の施設になるんですけれども、小学生が利用します尼崎の自然の家というのがありまして、こちらが年間2万5,000人程度の小学生が入り込んでおります。これらをずっと利用の中に取り込んでいくというふうな考え方で、健康増進施設につきましては、新町の町民、それから、それ以外の町外の方を含めて、4万人程度の入り込みを見込みさせていきたいと思っております。それから、グラウンドゴルフについては約2万人程の入り込みを考えております。以上でございます。

井上（一）委員長 他にありませんか。

中村委員。

中村（治）委員 美方町の中村です。最重点課題事業の位置付けの件なんですけども、私は、災害であるとか教育事業等を除いて、他の事業に優先をして採択すべき事業というふうに認識しているわけでございます。また、一般財源導入につきましても同様であると思っているわけなんですけれども、その確認をまずしていただきたいということと、もう1点は、これらの庁舎、それから特別養護老人ホーム、健康増進施設等の3町の事業について、具体的にまちづくり計画の中に明記していただきたい、これはお願いでございます。以上です。

井上（一）委員長 事務局長。

藤原事務局長 まちづくり計画の中に重点課題と言われる3つの事業につきましては、ある程度の明記はそれぞれしてあるわけでございますけれども、それが弱いということであれば、今御提案がありましたような、先程吉田委員も言っておられましたですけども、明確にする意味で、何らかの形で明記すべきだということになりますと、事務局の方といえますか、きょうは町長おられませんので、幹事長以下、幹事の皆さんと御相談させていただいて、何らかの形で御提案させていただきたいというふうに思います。大体、質問が出尽くしましたら委員長にお願いしようと思っておりますけども、若干休憩をいただいて、その間にちょっと調整をさせていただきたいというふうに思っております。

井上（一）委員長 他に質問ありませんか。

吉田委員。

吉田委員 確認だけしたいんですが、53ページの養父美方、それに関連して、特にその中に村岡美方線というものがあるわけなんですけど、今の事務局長の答弁を聞いてみますと、他という中に含まれていると、このような認識でいいのではないかとというふうには思うんですが、現実、私もそうなんですけど、3町の一体感を高めるためには、どうしても香住村岡線、もちろんこれは主要道路になりますので、そのように思いますし、後は横

の繋がりで美方、村岡が一体になるという上でも、この辺の整備は是非お願いしたいし、また、しなければならぬと。

また、その中で、いろんな意味の中で、多分この協議の中で整理という中には、それは県がすることですし、また効率性の問題もあるんですけど、トンネル化等の話もあって、それも整備の中で考えることで、その中に含まれているというふうな発言もあったわけなんですけれど、その辺の確認をちょっと一つだけしておきたいなと、このように思うんですが。

井上（一）委員長 事務局長。

藤原事務局長 この53ページの県の事業の関係につきましては、先程も申し上げましたように、県のサイドで各所管を通じまして、この3町に合併を機に取り組む事業としてふさわしいものを通知いただいとるわけでございますけれども、先程申し上げましたように、具体的名称が、例えば村岡美方線の名称が入っていないわけでございますけれども、その辺、具体的名称をもし入れるとなれば、いろんな形での県に対しての要望活動をこれからもお願いする中で、最終的にはこの中に入ってくる可能性もあるかなと思いますが、ちょっと情報を仄聞しておりますことを申し上げますと、今月末に浜坂町の方で知事を迎えるの何か会合があるようでございまして、少なくともその席で3町長さん共通の認識の上で、今言われましたような路線の要望をしていただければというふうに思っております。場合によりますと、それ以後、県の方から具体的な、また通知があれば大変ありがたいというふうに期待をしておりますので、そのように働きかけをお願いしたいというふうに思っております。

井上（一）委員長 そうしましたら、先程申し上げましたように3時まで休憩をしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

〔休 憩〕

井上（一）委員長 それでは委員会を再開したいと思います。  
質問ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

井上（一）委員長 そうしましたら、事務局の方から提案がありますので、お願いします。

藤原事務局長 それでは、先程申し上げました3町のそれぞれの最重点課題事業の関係につきまして、幹事会、助役等と若干協議させていただき、一つの御提案をさせていただきたいと思いますので、御意見等いただきたいと思います。

それでは、ただいまから配付をさせていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、大体行き渡ったようでございますので、読み上げさせていただきたいと思えます。

最重点課題事業の取り組み。新町まちづくり計画には、合併特例法において合併市町村の建設の根幹となるべき事業に関する事項を定めるとされております。このため新町まちづくり計画には、各町の振興（総合）計画・実施計画などを踏まえ、新町の施策の中に主要事業の概要として取りまとめています。その中で、特に、各町が最重点課題として取り上げている以下の事業については、合併後、前期5年間の事業計画の中に盛り込み、早期に事業実現を図るものとしします。

美方町、健康増進施設整備事業（健康増進センター・グラウンドゴルフ場建設事業）、村岡町、高齢者福祉施設整備事業（特別養護老人ホーム建設事業）、香住町、庁舎建設事業（新町本庁舎建設事業）。

以上のもので、このまちづくり計画の中に、より明確化すべきものと考え、これまで皆さんでまとめていただきました内容のものに挿入をさせていただくことを御提案させていただきたいと思えます。

なお、挿入の箇所でございますけれども、59ページお開きいただけませんか。その中に の公共的施設の総合整備とありますが、この に最重点課題事業の取り組みを入れさせていただいて、公共的施設の統合整備は に、それから財政計画は に番号を繰り下げたいと思っております。以上でございます。



井上（一）委員長 ただいまの事務局の提案、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そうしましたら、本日の委員会は、1つは、前に審議していただきました字句の修正と、それから美方町の方から出ました約5億程の健康増進施設、それから村岡町の方からも同じく8億9,700万ですか、多少違っておる面もあったと思いますけども、そういうことに基づく老人福祉施設整備事業の提案がありまして、その施設のことにつきましては、先程事務局長の方から説明がありました形にまとめたということになりますが、以上のことを踏まえて本日の議案を承認していただくことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

井上（一）委員長 異議なしの声がありましたので、承認いただいたことにします。

以上で本日予定しておりました議題は終了しましたが、新町まちづくり計画につきましては、一応終わりという形にはなりますけども、今後、必要が生じた場合には、また委員会を開かせていただくということで終わりにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、こういうことでよろしくお願いをしたいと思います。本日は大変御苦労さまでした。

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

美方町・村岡町・香住町合併協議会  
新町まちづくり計画検討小委員会

委 員 長 .....

会 議 録 署 名 委 員 .....

会 議 録 署 名 委 員 .....